

事務事業名	大東健康福祉センター管理事業	所属部	大東総合センター	所属課	保健福祉課			
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉地域で支えあうくらしづくり〈保健・医療・福祉〉	所属G	健康福祉グループ	課長名	大坂博宣		
	施策名	〈21〉地域福祉の充実	担当者名	宮川容子	電話番号	0854-43-6142 (内線) 4014		
	目的・対象	市民 意図 地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実践する。	予算科目	会計	款	大事業	大事業	社会福祉施設管理事業
	基本事業名	〈061〉福祉活動の実践と連携		0	1	5	0	1
目的・対象	市民、地域自主組織 意図 地域の実態に即した福祉活動に取り組む。	項目	中事業	中事業	大東健康福祉センター管理事業	大東健康福祉センター管理事業		
			0	5	1	0	1	0

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 大東健康福祉センターの管理運営を行ない、利用者の福祉の向上を図る。(平成22年度～平成24年度は雲南市社会福祉協議会に指定管理。)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 施設管理団体への施設管理に関する監督・指導及び指定管理料の支払い。 指定管理更新業務を行った。	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 施設管理団体への施設管理に関する監督・指導及び指定管理料の支払い。			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 監督指導回数	回	4	4	4	4
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	①施設利用者(貸館、健診等) ②大東健康福祉センター	ア 利用者	人	8,059	6,569	6,319	6,319
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	①安心安全に利用出来る。 ②適正に維持管理する。	ア 施設利用による事故発生件数	件	0	0	0	0
		イ 地域の中で福祉ボランティア活動(見守り、声かけ等)をした市民の割合	%	23.0	23.4	24.9	24.9
		ウ 地域で自主的に企画・実践した福祉活動の参加延べ人数(地域福祉専門部の活動)	人	26,468	26,421	34,112	34,112

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
指定管理料: 4,577,000円 修繕費用: 120,750円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	80	48	87	80
	一般財源	千円	4,497	4,529	4,611	4,271
	事業費計(A)	千円	4,577	4,577	4,698	4,351
	人件費	人	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	24	24	24	
	人件費計(B)	千円	93	95	94	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,670	4,672	4,792	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
建設から9年が経過。今まで軽微な修繕はあったが、平成24年度に修繕費用が多額のものが発生した。今後、修繕箇所(修繕費用)が増えるものと予測される。	・平成19年度から住民の要望により、調理実習室他3室の貸館を開始した。 ・平成22年度から指定管理を行っている。	調理実習室の使用について、夜間、土日の貸館をしてほしいとの要望がある。

事務事業名	大東健康福祉センター管理事業	所属部	大東総合センター	所属課	保健福祉課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 施設を適正に管理しており、安心安全に利用できている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 施設は、保健福祉の拠点のため廃止・休止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 地域福祉施設や健康増進の拠点施設である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 指定管理施設であり、協定の3年間は指定管理料を変更できない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 指定管理に関する契約事務等を最小限の人員で行なっている。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 誰でも利用できる施設であり公平公正である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適正に管理できた。 今後も拠点施設として必要な修繕をしながら、地域福祉の維持管理を図る。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
施設の管理方法としての指定管理は引き続き行う。																			